

## 第一支部「フランス語ガイド秋葉原・浅草研修」終了報告

第一支部運営委員会



2019年12月19日(木)と追加設定の20日(金)に第一支部「フランス語ガイド秋葉原・浅草」研修が13:00-16:30で実施されました。2日間合計で仏語資格のある会員21名、非会員1名、委員1名合計23名が参加し、関東圏のみならず、大阪、愛知、山梨、茨城からも駆けつけて頂きました。講師のMs. Astrid PICHARDさんはフランス人女性として初めて仏語の全国通訳案内士の資格を取得され、現在、アンスティチュ・フランセ東京の教師でもあります。

13:00にJR秋葉原駅に集合し、最初にヨドバシカメラを紹介し、その後、東西自由通路を抜けて、電気街口側に移動。ラジオ会館あたりの風景は、フランス人が思い描く電気街のイメージとのこと。その後、電気街の発祥の場所とも言えるJRガード下の電気部品街を視察した後、旧万世橋駅を改造した「マーチエキュート神田万世橋」を視察。電気街に興味のないお客様の場  
合、ここのカフェテラスやショップ、レストランはフランス人の興味を引くとのこと。辰野金吾設計による、1912年創建当時の駅舎の石の階段が「1912階段」として公開されており、クラシックとモダンの組み合わせが、歴史を感じさせる場所でした。その後、裏秋葉原とも言える中央通り裏を歩き、メイドカフェやガチャポンを紹介しながら、ネコカフェやフクロウカフェの場所も案内。



その後、末広町から地下鉄で浅草に移動。アサヒビールのオブジェを説明し、雷門から仲見世通りを歩きながら、フランス語の言い回しや言葉を説明。そして浅草寺本堂では仏教の説明、浅草神社では神道の説明をされました。

最後に参加者との質疑応答とフランス語表現の説明が初日は浅草文化観光センター会議室、翌日は「まるごとっぽん」ビルのカフェで実施され、約1時間熱心な議論がされました。日頃フランス語ガイドとして悩んでいる表現や訪問場所等を確認でき、充実した研修となりました。